

令和2年6月30日

養父市議会議長 深澤 巧 様

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会
委員長 足立 隆 啓

養父市文化会館（仮称）建設調査特別委員会中間報告

閉会中において、本委員会の所管事務につき、調査したことを次のとおり中間報告する。

記

- 1 調査年月日 令和2年6月22日（月）
- 2 調査事項 （1）養父市文化会館（仮称）建設工事の進捗状況について
（2）関連事業の計画概要及び進捗状況について

3 調査内容

本工事の進捗状況、旧グンゼ事務所棟ほか改修工事、市道宮越諏訪町線ほか道路新設改良工事及び文化会館（仮称）を新しい出会いの場とするための基本計画の概要について、市民生活部文化会館建設推進室、まち整備部土地利用未来課、同建設課及び経営企画部まちづくり文化芸術推進準備室から説明を受け調査した。

記

（1）養父市文化会館（仮称）建設工事の進捗状況

本工事は、水路工事を3月末までに、ホール棟の基礎工事を4月末までに終了し、現在は1階床のコンクリート打設及び柱の鉄筋組立を施工中である。5月29日現在の工事進捗率は16%で、計画の18%より少し遅れているが許容範囲内であり、ほぼ順調に進捗している。遅れの原因は、新型コロナウイルス感染予防対策で京阪神からの業者を制限したことにより作業員不足を生じたことなどによる。

緊急事態宣言の解除を受け、感染予防対策と熱中症対策を実施しながら効率的な施工に努め、7月末に1階の躯体、8月末に2階の躯体を完了させ、10月末に棟上げを行い、11月から図書館棟の工事着手を予定している。

施設名称の応募状況は、調査日現在で約500件の応募があり、6月末の締め切り日以降に、各団体の代表者などによる選定委員会で選考することになっている。

（2）関連事業の計画概要及び進捗状況について

旧グンゼ事務所棟等の改修は、既存建物が兵庫県景観形成重要建造物に指

定されていることから、外観上のデザインに配慮し、建物の歴史を感じられる空間づくりに心掛けるとともに、バリアフリー化と耐震化を進め、本年度に実施設計と本工事を実施する。

敷地に隣接する市道4路線の新設、拡幅、歩道等の整備を行うため順次測量業務に着手し、実施設計に続き本工事を実施する。

まちづくり文化芸術推進準備事業は、文化会館（仮称）を新しい出会いの場とするための基本計画として、平成29年2月に策定した養父市文化会館（仮称）建設基本構想のコンセプトと事業方針を具体化することで、施設の有効活用と地方創生に寄与するための計画策定を行うもので、委員会を立ち上げ年内の策定を目指している。

（まとめ）

本工事は、8月にホール棟2階の躯体工事完了後、1階の内装工事が始まり、11月には図書館棟の基礎工事へも着手する。並行して実施される市道4路線と旧グンゼ事務所棟など2棟の改修工事も新文化会館のオープニングに合わせた完成が望まれる。

一方、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る緊急事態宣言は解除したものの、第2波・第3波も予測されており、作業員不足の解消は困難な状況も見込まれる。

本工事ほか市道、旧グンゼ棟等、同一敷地内での多岐にわたる工事実施にあたり、工期内に無事故で高品質な施工を行うためには、安全管理、品質管理、工程管理などの施工管理が最も重要である。

本工事ほか、関連する工事の実施に当たっては、随時、CMR、施工者、設計者、施主（市）と協議・調整を図り、適切な施工を実施されたい。